

体験を終えた後の生徒の思い

Q 活動や講師の話から、講師の思いを知ることができた。

そう思う	84.4%	おおむねそう思う	15.0%
あまり思わない	0.6%	思わない	0%

Q 活動や講師の話から、働くことの苦勞や大切さを知ることができた。

そう思う	89.3%	おおむねそう思う	10.1%
あまり思わない	0.6%	思わない	0%

Q 将来働くことについて考えることができた。

そう思う	62.1%	おおむねそう思う	34.7%
あまり思わない	2.3%	思わない	0.9%

Q また今回のような活動をしたり話を聞いたりしたい。

そう思う	69.9%	おおむねそう思う	24.9%
あまり思わない	3.8%	思わない	1.4%

Q ものづくり等の魅力を伝えていきたいと思う。

そう思う	47.9%	おおむねそう思う	41.4%
あまり思わない	9.3%	思わない	1.4%

Q 将来に向けて自分の能力を高めたいと思う。

そう思う	74.9%	おおむねそう思う	22.2%
あまり思わない	2.3%	思わない	0.6%

Q 自分の能力を今後の社会のために役立てたいと思う。

そう思う	63.9%	おおむねそう思う	31.8%
あまり思わない	2.9%	思わない	1.4%

成果と課題

成果

- ・講演会を通して、「働く」目的の大切さを知ることができた。
- ・講演会や活動を通して、ものづくりに限らず、働くために必要な身につけるべき力を知ることができた。
- ・ものづくりについて、生徒自身が考えるきっかけとなり、将来の夢や希望に向かって生活しようとする気持ちを高めることができた。

課題

- ・講演会や体験活動で学んだことを、継続して実践していく機会を充実させる。

「地域から学び、将来の夢や希望の実現につなげる生徒の育成」 ～小牧市のキャリア教育～

生徒に身につけてほしい力

人間関係形成・社会形成能力

仲間や他の児童生徒とコミュニケーションを図り、よりよい人間関係を形成し、地域社会に貢献しようとする力



自己理解・自己管理能力

現在の自分自身ができることを理解する力、自分自身を肯定的にとらえ考える力、今後の成長のために進んで学ぼうとする力



職場の努力や魅力について理解したり考えたりする力、ものづくりの課題について創意工夫をして解決する力



活動から分かったことをもとに、これからの自分の生き方について考える力



課題対応能力

キャリアプランニング能力

中学校における取組

- 職業人体験学習(2年生)(桃陵中11/7～9、篠岡中1/16～18、小牧中1/22～24)
- ・「マナー講座」や外部講師による事前学習を実施する。
- ・地域の事業所で実際に働く場面に触れ、職業人としての体験をする。



職業人体験学習

地域の事業所や公共施設等での職業人体験

やりがい!

ずっと立ちっぱなしで仕事をして座りたくなってしまうけど、働いている人は黙々と続けていてとてもすごいと思いました。作った製品が袋をかけられてトラックに積まれていくのを見て、初めて働いたという実感がわきました。仕事を一つ一つ終わると、達成感があり、気持ちがよくなりました。そういう所に仕事のやりがいを感じます。作業をしてからの休憩の時間はまるで天国のように幸せでした。



丁寧な仕事!

働いているときの大変さや、人のことを思ってものを製作することの大切さを知りました。少しの「ずれ」でお客様に不快な思いをさせてしまうから、ずれているところを徹底的に直してお客様にぴったりな物を出していたので、その丁寧さに驚きました。お客様のことを思って丁寧に仕事ができるようにしたいです。



あいさつ!

みなさんが働いている理由はそれぞれでしたが、ユーザーさんがよりよい生活を送れるようにという思いは一緒だと感じました。こういう意思の疎通が職場の仲間の中で大切だと思いました。コミュニケーションを取るためにあいさつを意識していました。毎回すれちがうたびに気持ちいいあいさつをしていて、あいさつの大切さを実感することができました。これからあいさつを大切にしてコミュニケーションをとり、将来に備えたいです。



人のため!

今まで、働くというのはお金を稼いで自分の食事代や洋服代にするためと思っていたけれど、今回職業人体験をしてみて、働くというのは、どんな仕事でも、人のためになっていて、自分以外の人の役に立ち、社会貢献することを「仕事」というんだなと、事業所のみなさんを見ていて思いました。

社会貢献!

身だしなみ!

仕事を任せられ、人のことを思い、心を込めてやるのがいい働き方だと思いました。そのために、身だしなみや大きな声でのあいさつ、そして時間を守って行動することが特に大切だと感じました。

時間を守る!



キャリア教育講演会

講師 ^{みやもと} ^{まさ はる} 宮本 延春 先生

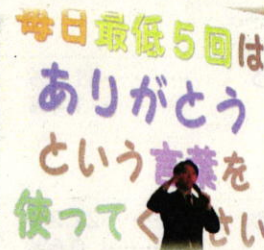
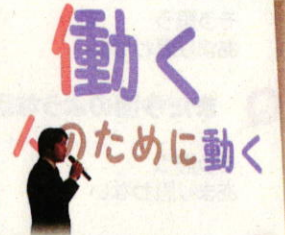


「オール1の落ちこぼれ、教師になる」

様々などん底を経験したことからわかったこと、そして自分らしく生きるために考え、行動してきたことを、多くの視点から講演していただきました。たくさんの言葉が生徒の心に響きました。

「働く」

働くということは、誰かのために働くということだと分かりました。将来、働くと思うけれど人のために働ける人になりたいなあと思いました。



「ありがとう」

「～してもらって当たり前」と思っていたことがあったけれど、それが当たり前じゃないということを知った今は、「ありがとう」という言葉を必ず言おうと思いました。

「視野を広げる」

まだ明確な目標がなく、「夢」というようなものは考えたこともなくて悩んでいたけれど、視野を広げることで、自分のやりたいことや希望、可能性が広がるということが分かり、とても納得できました。



「挑戦」

「できない子はいない」と言われたことにすごく心が救われました。やれない、できないと言って現実から逃げるのではなく、自分を受け止め、成長の一步にしようと強く思います。

私は今、「夢」をもっています。その夢が将来現実になるように、自分に合った学び方をし、どう知識を蓄えていくのか、今後考えてみたいと思います。

